



## #27 暮らしと収納② 玄関と寝室の収納、 成功の秘訣は？

前回のgm誌(vol.44)では、住まい全体にわたっての収納の基本的な考え方や散らかりやすさを解決する「リビング収納」の秘訣についてお伝えしました。そこで今回の『暮らしと収納②』では「玄関収納」と「寝室収納」にスポットを当て、「リビング収納」「玄関収納」「寝室収納」の3つは収納計画の要とも言え、その使い勝手の良し悪しが日々の家事負担にも大きく影響を与えます。とくに玄関は「わが家の顔」としていつもスッキリと片付けておきたい場所ですし、寝室は多くの人の悩みのタネとなる衣類収納のメインスペースです。ぜひ前号とあわせてご一読いただき、収納ストレス解消のヒントに出会ってください。

### 玄関を乱しているのは、 靴類だけではありません。

散乱した子どもたちのスニーカーやスポーツ用品、雨具や食材宅配のボックス…。帰宅して玄関ドアを開けた瞬間に、ブルーな気分になることはありませんか。

玄関は「わが家の顔」。お客様をお招きするときはもちろんですが、普段から家族が気持ち良く外出・帰宅できるようなスッキリと整えておきたい場所です。でも気がついたら散らかっていたり、片付けたつもりでも何だか雑然としがちだったり。そんなストレスを抱えている方も多いのではないのでしょうか。

一般的に「きれいに整えやすい玄関」「充実した収納」「靴がたたくと音が落ちる」と考えがちですが、これがちよつとした落とし穴なのです。もちろん靴類の収納は大切なポイントですが、玄関まわりにあふれやすくて「わが家の顔」を乱しているのは、意外にも靴類以外の物たちなのです。

### ■玄関には雑多な物が 集まりやすい!



家族全員で置きっぱなしにするのよね…

### ■シューズクローク(シュークロ)の 活用イメージ

玄関から土間続きなので靴のまま出入りが可能。汚れがちな物の収納にも気遣い無用で、気軽に床の汚れも洗い流せます。



**シューズクロークで  
散らかりを上手に目隠し。**

では、大きさもカタチも色も違う物たちを効率良く収納するには、どうすれば良いのでしょうか。答えは、上手に目隠しできる収納スペースを確保すること。もちろん従来の玄関クローゼットでも収納物の目隠しは可能ですが、奥行きが限られていて納められる物に制約が生まれがちです。そこで、一番のおすすめが「玄関脇に納戸型収納「シューズクローク(シュークロ)」を設けることです。

シューズクロークは、積水ハウスが提案する収納プランニング術「収納3姉妹(リビングクローク、シューズクローク、寝室クローク)」のひとつで、持ち物をさっと預けられる「ホテルのクローク」の便利さをイメージした収納スペースです。

さまざまな大きさやカタチの物をまとめて納められ、扉を閉めることで中の収納物の目隠しが可能。玄関をスッキリと美しく整った印象に保つことができます。

さらに収納内部の床を玄関土間と連続し

て仕上げることで、大きな物や重たい物の運び入れもスムーズ。とくに玄関に集まる物には屋外での土汚れなどが付いていることが多く、室内に持ち込むのが気になりますが、土間仕立てのシューズクロークなら安心です。

### シューズクロークの内部にも ひと工夫を忘れずに。

シューズクロークは扉で目隠しできるので、見た目を気にすることなく、使い勝手優先で内部を計画できるのもメリットのひとつと言えるでしょう。

まず、収納物が見渡しやすい、出し入れのしやすいオープン棚で内部を構成するのが基本になります。ここで注意したいのが、靴類をたつぷり収納することをイメージして細かな固定棚を多く設けると、意外と融通が利きにくくなるということ。高さのある収納物にも対応しやすいように、可動式の棚板を採用しておくのがベストです。

そして、シューズクロークならではの収納スペースをしっかりと確保しておくことも肝心。床に近い低い位置にスペース取りをすると、出し入れしやすくなります。ゴルフバッグやアウトドア用品、宅配食材のボックスや古新聞など、わが家の玄関まわりにどんな大物が置かれているかをチェックして



シューズクロークは扉付きなので内部はオープン棚で構成。収納物が見渡しやすい、お出掛け時の靴のチョイスもスムーズです。

計画するようにしましょう。

また、今は置いていないけれど、玄関近く何があれば便利かといった視点も大切です。たとえば、ちょっとした外出時に羽織る上着類やレインコートなどもシューズクローク内に収納しておけば重宝します。ハンガーパイプやフックなどを設けておくのがおすすめです。

場合によっては、棚などを設けずに手持ちや市販のラック類を上手に組み合わせ、内部を構成することも考えられます。ライフスタイルの変化などによって、収納したい物が変わっても対応しやすいという利点があります。

使いたい物を使いたいときに使いたい場所、スムーズに出し入れできる。この収納の基本に沿って、わが家にマッチしたシューズクロークを考えるようにしましょう。



靴類はもちろん、コートや帽子、傘、ベビーカーやゴルフバッグなどを一箇所にまとめて収納できるシューズクローク。(グランドメゾン丸の内スタイル/愛知県)



シューズクロークの扉を開けるとスッキリとスマートな雰囲気。落ち着いた木目調のインテリアが映えます。(グランドメゾン上原レジデンス/東京都)

### 誰もが抱える最大の悩み、それが衣類収納。

生活キャリアを重ねるとともに年々確実に増えていくのが衣類です。最近はリサイクルやゲーミングセラーなどを利用して上手に古着を手放す方法も身近になりましたが、思い入れのある物を多く持つ、手元に残しておきたい派の方や、処分が苦手な溜め込み派の方も少なくありません。

さらに仕事を持つ方の場合、ビジネススタイルにオフのスタイルにと、ワードローブはどうしても多くなりがちです。日頃の衣類収納ももちろん大変だけど、季節の変わり目の衣替えが大仕事で気が重たいという声もよく耳にします。

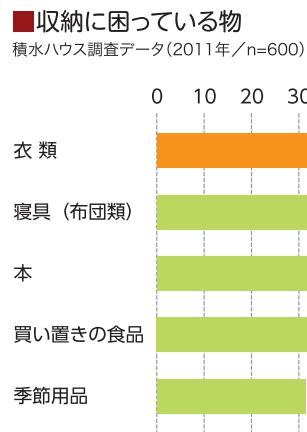
アンケート調査を行なってみても、収納に困っている物の第1位は「衣類」という結果が



### ■マンションだからこそ、シューズクロークが有効。

マンションの玄関は、床面積の効率を考えると比較的コンパクトに計画されるケースが少なくありません。そんな限られた広さの中にシューズクロークを設けるのは、一見スペースの無駄遣いと思われがちです。ところが、コンパクトな玄関にこそ有効なのがシューズクロークなのです。限られた土間やホールに天井までの高さの玄関収納を配置することも。思い切ってシューズクロークを設けることで空間全体がスッキリとして、スマートな雰囲気に仕上げることもできるのです。

出ています。衣類収納は誰もが抱えている大きな悩みのひとつだと言えるでしょう。



### 便利で使いやすいのは、ウォークインor壁面収納。

では、そんな誰もの共通の悩み「衣類収納」を上手に計画するには、どのような方法が効果的なのでしょう。一般的に衣類をまとめて収納するには「ウォークインクローゼット」と「壁面収納」の2つのスタイルが考えられます。とくに最近は、独立した「おしゃれ部屋」というイメージで「ウォークインクローゼット」が人気。実際に、ワードローブが一箇所にまとめられる、持っている衣類が把握しやすい、寝室をスッキリと保ちやすいといった魅力も多く、採用された方の満足度も高いようです。

また、「壁面収納」は、おしゃれ感こそ乏しいかもしれませんが、比較的コンパクトなスペースで計画しやすいのが特徴です。全開できる扉を設ければ見渡しやすい高まり、着替えスペースとして広々とした寝室を活かせるといったメリットも見逃せないポイントです。残念ながら、どちらのスタイルが便利で使

いやすいかは一概に判断できるものではありません。使い勝手を高めるには、収納スタイルにかかわらず、暮らし方や住まい全体の間取りに合わせて計画することが大切になります。



扉を姿見にした壁面収納。寝室全体をドレスアップスペースとして使い、ゆったりとコーディネートが検討できます。



おしゃれな雰囲気。人気のウォークインクローゼット。お気に入りの洋服に囲まれる幸福感を味わえるのも魅力です。

### 衣類収納成功の秘訣は、持ち物の見極めが第一歩。

ひとことで「衣類収納」と言っても、そこに納めるべき中身はライフスタイルやファッションの好みなどによって人それぞれです。その違いを計画に反映してこそ、便利で使いやすい衣類収納が完成します。

たとえば、スーツやジャケット、ワンピースなどの吊るす洋服が多い方なら、ハンガーパ

ローゼットなのです。グランドメゾンでも、そのノウハウを活かして多彩な「寝室クローーク」を提案しています。

\*

前号から2回にわたって「暮らしと収納をテーマに考え方やノウハウをご紹介しました。収納は奥の深いテーマで、住まう方によってベストアンサーが異なるものですが、少しでも参考にしていただければ幸いです。

イブのスペースをたっぷり確保するのが有効策。ちなみに1mのハンガーパイプなら、一般的にスーツ15着程度の収納量が目安になります。平均的な衣類の所有量なら、ご夫婦ふたりで約5mのハンガーパイプがあれば対応できます。

また、ニットやカッターなどのカジュアルなアイテムが中心の方なら、引出しや棚のスペースを多めに計画しておくのがおすすめです。バッグや小物、アクセサリー類も一緒にまとめておけるように、専用棚や小引出しを設ければ使い勝手がぐんとアップします。

このように自分が持っている衣類の傾向や一緒に収納したい物の種類・量などを見極めた上で計画するのが、衣類収納を成功に導く第一歩となります。



### ■寝室クローーク(シンクロ)の活用イメージ

洋服から小物類まで見渡せて収納しやすい寝室クローーク。ミラー扉やドレッサーを組み込んで身支度を整えやすくしています。



寝室からフティックのフィットインクルームに入るような雰囲気。ベッドの上に洋服を並べてコーディネートを検討することもできます。



所としても重宝しそうです。また、着替えとメイクを一緒に済ませられると嬉しいですね。衣類収納の近くにドレッサーを設ければ、忙しい朝でもさっと身支度を整えることができ、時間を効率良く使えます。

じつは、このような多様な生活シーンを想定して、単なる衣類収納スペースではなく、おしゃれを楽しむドレスアップ空間として提案しているのが積水ハウスの「寝室クローーク(シンクロ)」です。

スタイル的には寝室につながるウォークインクローゼットになりますが、住まう方のライフスタイルやファッションスタイルに合わせてプランニングしていくのが特徴。衣類収納の機能を充実することで、おしゃれの楽しさをグレードアップさせる。進化したウォークインク



ゆったりとしたスペースを確保した寝室クローーク。インテリアにもこだわり、おしゃれを楽しむ雰囲気を高めています。(グランドメゾン池下ザ・タワー/愛知県)



お出掛けアイテムをディスプレイできる壁面コーナーと水の使えるドレッサーを近設させ、スムーズな身支度を実現しています。(グランドメゾン池下ザ・タワー/愛知県)